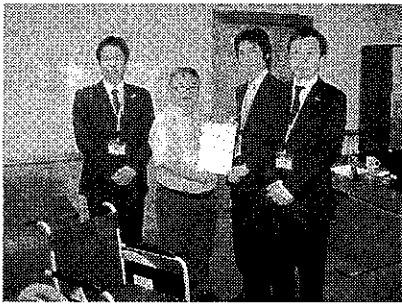


媒体名	日刊自動車新聞
掲載日	2011. 7. 14

## さいたま市社会福祉協に車椅子寄贈

3311 ヤナセ労組

ヤナセ労働組合（山下雅弘中央執行委員長）は社会貢献活動の一環で、さいたま市社会福祉協議会（岩崎勝義会長）に車いすを寄贈した。写真。全国の組合員が収集したアルミ飲料缶のリングプルを車いすに交換、福祉関係団体などに提供する活動で、今回



が3台目。今後も資源リサイクルを通じたボランティアと

して組内内の理解を深め、活動を継続する。

リングプルの収集は、全国の組合支部・分会で、2006年に開始した。専門のリサイクル業者により、リングプル510キログラムで車いす1台に交換できる。08年12月に最初の車いすを日本自動車会館、2台目は10年3月に札幌市社会福祉協議会へ寄贈している。

さいたま市社会福祉協議会への寄贈に際し、山下委員長は「全国の組合員とその家族、顧客も参加した活動の成果」と説明、「高齢者らの支援に活用してほしい」と述べた。協議会も「車いすは夏休み前に施設から帰宅する高齢者の利用などで、ニーズが高まる時期。関係者の理解と活動に感謝し、有効利用させていただく」として、一時貸し出しに活用する方針を示した。